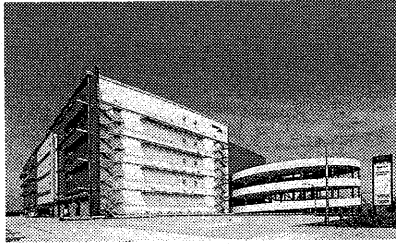


GLP綾瀬が完成

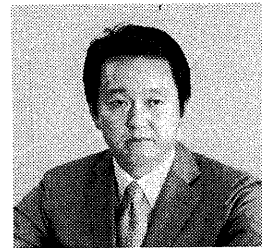
設計・施工はJFEシビル

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ（GLP、帖佐義之社長）は25日、神奈川県綾瀬市で建設していた大型物流倉庫「GLP綾瀬」Ⅱ号真上Ⅱの竣工式を現地で開催した。免震構造の採用などBCP（事業継続計画）に対応した5階建て延べ6・8万平方メートルテナント型先進物流施設が完成した。設計・施工はJFEシビルが担当した。



建設地は綾瀬市小園771の1ほか。敷地面積は3万1699平方メートル、建築面積は1万4790平方メートル。建物はプレキャスト（PCa）PC一部S造5階建て延べ6万8642平方メートルの規模。免震構造を採用し、バックアップ電源などを確保。災害など非常時の入居企業の事業継続性を重視した。

屋上に1340キロワットの太陽光発電システムを搭載し、全館にLED照明を採用するなど環境に配慮した設計も特徴で、建築環境総合性能評価「CASBEEかながわ」の



会見する帖佐社長

Aランクを取得している。総合物流企業の日本ロジテムが専用施設として運営する。

同社は神奈川県内では今回の施設を含め6棟を運営。ほかにGLP座間とGLP厚木Ⅱの2棟の建設も進めている。同日記者会見した帖佐社長は「これらが完成すると県内で運営する物流施設の延べ床面積は70万平方メートルを超える規模になる。引き続き県内で開発用地取得の検討を進め、高機能で安全性を確保した物流施設の提供に努めたい」と述べた。